

白いキャンバスに、 新しい暮らしを描くように。

パン工房Minori オーナー 平井典子 Hirai Noriko



筑西市でパン工房を営む平井さんは、現役の予備校講師として古文を教えながら、ブーランジェとしても腕をふるう「二足のわらじ」の人。

週の半ばは都心へ通い、残りの日々は筑西市でパンを焼く二拠点生活を続けています。

10年前、古民家への憧れから各地を巡るなかで出会ったのが、長い門をくぐると静けさに包まれる一軒の古民家でした。

「ここなら、新しい自分をはじめられると思ったんです」。

春は芽吹き、夏は高く広がる青空、秋は落ち葉の匂い、そして冬はご近所からの白菜のおすそわけ。

季節がくっきりと息づく筑西市は、まるで「白いキャンバス」のようです。

「何を描くかは、自分次第です」。平井さんは、今日もおいしいパンを焼きながら、自分らしい暮らしと仕事のカタチをこのまちで広げています。

■ 平井さんのおすそわけは、
移住を考えている人にアドバイスすることです。

連絡先は、メール：pankoubouminori@gmail.com
Instagram：@pankoubouminori



Instagram